

# 弊社の羊水幹細胞培養液に関する説明

2020.09.16.

## 1. 羊水幹細胞培養液の特徴

倫理的に問題のない成体(大人)から得られる最も若い幹細胞で、論文と特許を見ると、実際には羊水から得た幹細胞は胎児のもので胎児に影響を与えないという特徴があります。

特許と論文によると羊水幹細胞のDNAを分析した結果、女性から得たものなのに、XY遺伝子があり、胎児のものであることが分かります。

即ち、**成体から問題なく抽出できる幹細胞であるが、事実上は胎児のものであることです**

## 2. 特許を取った培養技術

**低酸素培養で、有効成分(成長因子)をより多く得られます。**

## 3. 重要な有効成分

重要な成分は以下の通りです。

培養液はApo-1Fas、(EGF)、IP-10(Interferon- $\gamma$  inducible protein-10)、レプチン(Leptin)、MIP4、MP3、ランデス(Rantes)、インタペロン- $\gamma$ (IFN $\gamma$ )、人間形質転換の成長因子- $\beta$ (TGF- $\beta$ )、腫瘍壊死因子- $\alpha$ (TNF $\alpha$ )、腫瘍壊死因子の受容体 I (TNFR I)、腫瘍壊死因子の受容体 II (TNFR II)、細胞封着因子-1(ICAM-1)、血管細胞封着因子-1(VCAM-1)、血管内皮細胞増殖因子(VEGF)、インターロイキン-1 $\beta$ (IL-1 $\beta$ )、受容体アンタゴニスト(IL-1R $\alpha$ )、IL-2、IL-3、IL-4、IL-5、IL-6、IL-6R、IL-7、IL-8、IL-12及びIL-15を含みます。

## 4. タンパク質の種類の数

幹細胞とは、多様な細胞に分化できる万能細胞を意味するため、多様なタンパク質の種類を作ることができるという点で、幹細胞の活性度が分かりますが、羊水幹細胞の場合、測定された結果、**1300種以上のタンパク質の種類**を測定されました。

## 5. Cell Seedingの数

**27,500,000個ののセール**で作った培養液です。

## ※ヒト羊水幹細胞培養液（低酸素培養法）について

バイオプロポーザー社が含有しています、ヒト由来の羊水幹細胞培養液は、低酸素で培養しました成分が含有されています（特許所得）

通常の培養液との圧倒的な違いは、成長因子の多さにあります、バイオプロポーザー社開発商品には、再生医療のエンジニア、スキンケア及びヘアケアのプロのエンジニアが人々の真剣な悩みに応えるべく開発しています。

バイオプロポーザー株式会社

商品開発兼CEO

須藤 政浩